



ひまわり



特集：回復期リハビリテーション病棟 ～ 3Aユニット ～

茨城県立医療大学付属病院はリハビリテーション専門病院です。院内には、外来と3つの病棟があります。今回は、回復期リハビリテーション病棟である3Aユニットを紹介します。

3Aユニットは脳血管障害、脊髄損傷、大腿骨の骨折後などに対する外科手術や肺炎など治療時の安静により廃用症候群などを呈した方が入院されています。患者さんには、長期的かつ集中してリハビリテーションを受けられる環境を提供し、機能回復を目的として、個別のリハビリテーションプログラムが組まれています。また、従来の訓練室でのリハビリテーションだけでなく、生活の場でのリハビリテーションを取り入れ、入院時から退院後の生活をイメージできるように調整しています。

医師は、障害の原因となっている疾患の治療や管理を行います。リハビリテーションチームのリーダーとして、多職種チームを総括して、その方針や活動の責任を負い、疾病の治療やリハビリテーションの方針を患者さん・ご家族とともに決定します。



看護師は、患者さん一人ひとりに合わせた看護を意識しながら、生活場面で日常生活動作の自立に向けた支援を行います。患者さんの回復や社会復帰に向けて、より円滑にリハビリテーションを提供できるよう、チーム医療の中心となって多職種間の橋渡しをします。

脳卒中予防健康教室

入院中の患者さんやご家族へ病気の再発予防や健康管理などについて、脳卒中看護認定看護師が中心となり、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、臨床心理士、薬剤師、認定看護師、医師などと協力して、教室を開催しています。



〈理学療法 (PT)〉

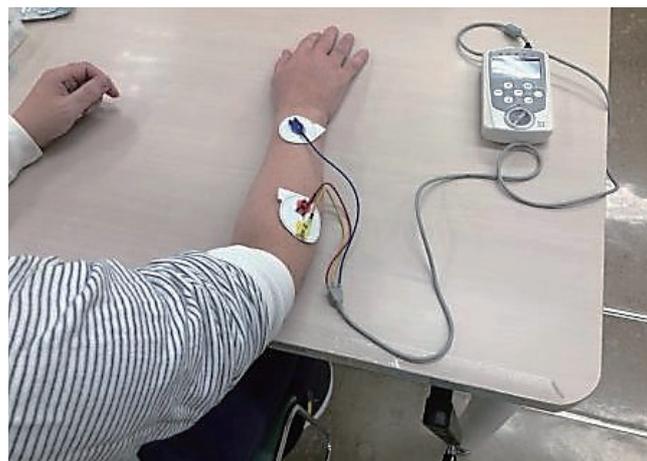
脳卒中や整形外科疾患などの後遺症により、身体機能が低下した患者さんに対して、下肢装具や電気刺激療法を活用しながら、日常生活動作や歩行の再獲得を目的としたリハビリテーションを提供しています。

また退院前には、患者さんと一緒にご自宅へ伺い、家屋改修の提案・助言を行う家屋調査や、電車やバスといった公共交通機関を利用するための外出訓練も実施しています。



〈作業療法 (OT)〉

腕の機能面の改善は、麻痺やこわばりの状態に応じ、電気刺激療法も利用して実用的動作の改善に取り組んでいます。日常生活動作練習では動画を利用してフィードバックし、分かりやすく学ぶ工夫をしています。自動車運転を希望される方には、身体・認知機能面を評価し、ドライビングシミュレーターを使用し評価やアドバイスを行っています。



電気刺激療法



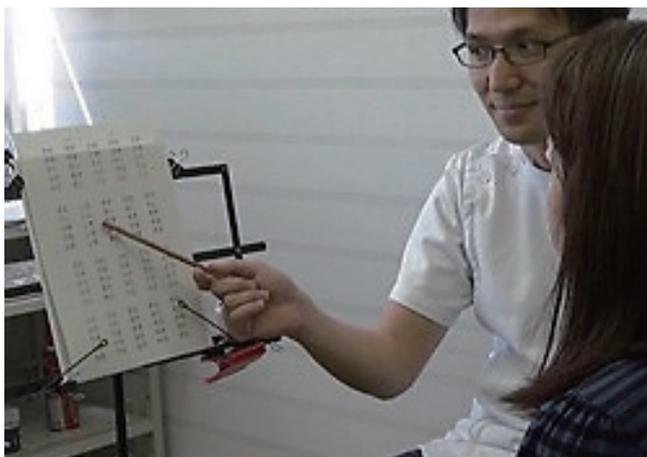
ドライビングシュミレータ



動画フィードバック

〈言語聴覚療法 (ST)〉

病気やケガが原因でことばの障害（言語障害）や食べることの障害（摂食嚥下障害）を抱えた方々に、検査・機能訓練や在宅生活に向けてのアドバイスなどリハビリテーションのお手伝いをしています。回復期病棟では特に患者さんが退院後の地域生活にスムーズに戻れるよう、ご本人ご家族に対してご家庭でのコミュニケーションや食事についての工夫の提案、職場・学校との事前の情報交換なども行っています。



〈臨床心理 (CP)〉

患者さんやご家族が抱える悩みや日常生活で感じていることをうかがい、一緒に考え、不安を解消できるように支えていく仕事です。主に、対話でのカウンセリング（心理面接）を行います。他にも、患者さんのご様子に応じて、心理検査を行い、ご自身の特性について理解を深めていく機会を作っていくこともあります。頻度は週1回からとなりますが、患者さんの体調やリハビリテーションの予定に応じて、相談し、決めていきます。



〈薬剤師〉



患者さんが入院時に持参したお薬（市販薬や健康食品等も含む）は、すべて薬剤師が確認し、必要な情報を医師や看護師に情報提供しています。入院中、患者さんが安心してお薬を飲んでいただけるよう、処方されたお薬の飲み方、効能・効果及び副作用等について、患者さんの理解度に合わせた服薬指導を行っております。

〈栄養科〉

一般食（常食）のほか、それぞれの患者さんの身体の状況を考慮した治療食や摂食嚥下機能に合わせた嚥下調整食などを提供しています。また、年に数回、四季折々の行事食（写真は秋の行楽弁当）も実施しています。退院後の食生活に不安のある方は、管理栄養士が栄養相談を行っております。



〈総合相談室 (SW)〉

1階正面玄関横に総合相談室があり、入院から退院までの様々な相談を行っています。福祉制度の活用のほか、地域関係機関との連絡調整などを行っています。



**入院でのリハビリテーションをご希望の方はまず主治医にご相談ください。
入院相談は以下のように受け付けております。**

当院外来通院中の患者さん・ご家族からの入院相談

主治医へご相談ください。入院申し込み手続きを行い検討します。

他院通院中の患者さん・ご家族からの入院相談

外来予約に関する相談は、予約専用電話へご連絡ください。

当院についての問い合わせは総合相談室へご相談ください。

- ・予約専用電話：029-888-9201 9:00～12:00・13:00～15:00（土日祝祭日を除く）
- ・総合相談室直通：029-888-9212 9:00～16:00（土日祝祭日を除く）

他院入院中の患者さんの転院相談（医療機関からのみの窓口です）

現在入院中の医療機関で転院の相談をします。紹介元の医療機関より当院地域連携室へ連絡調整の上検討します。

- ・地域医療連携室：029-840-2980 10:00～12:00・13:00～16:00（土日祝祭日を除く）

茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、患者さんが住み慣れた地域で、安心して、その人らしく生活できるように支援します。

●基本方針●

- 1 患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
- 2 より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
- 3 先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
- 4 県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
- 5 医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
- 6 健全な経営に努めます。

医療機関のみなさまへ

◆◆◆画像診断サービスのご案内◆◆◆

当院では、画像診断サービスを地域の皆様に提供しています。リハビリテーション関連の疾患に限らず、画像診断に関することは広くご相談に応じます。

※他の医療機関の医師からの紹介が原則です。

～検査内容～

- ・一般X線撮影
- ・X線骨密度測定
- ・CT検査
- ・核医学検査
- ・MRI検査
- ・超音波検査

●本サービスを希望される場合は、医療機関からの電話による予約が必要となります。

TEL: 029-888-9213

FAX: 029-888-9274

詳しくはホームページをご覧ください。



～令和6年度診療実績～

(令和7年2月28日時点)

- 延外来患者数 15,603人
(1日平均 69.97人)
- 延入院患者数 33,724人
- 新入院患者数 544人
- 退院患者数 548人
- 平均在院日数 60.76日

当院へのアクセス



●鉄道・バスをご利用の場合

JR常磐線 土浦駅または荒川沖駅で下車

□土浦駅(西口)からバスで約25分

「阿見中央公民館」で、「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分

□荒川沖駅(東口)からバスで約25分

「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

●お車をご利用の場合

□常磐自動車道「桜土浦IC」より約25分



茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>

